

# 「目標地図」作成の効率化について紹介します。

今回紹介する団体: 水土里ネットながの

## 取組概要

### 【内容】

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、市町村において策定が急がれる「地域計画」。その策定に不可欠な「目標地図」の作成において、水土里情報システムのGIS機能を活用し、耕作者ごとの筆の色分け作業を自動化・効率化を図った。

### 【経緯】

1. 市町村では、令和7年3月末までに地域計画の策定が求められていたところ、その中で作成が必要とされた「目標地図」は、多数の耕作者ごとに農地を色分けして表示する必要があった。
2. 従来の手作業（紙図面の手塗りやCADでの着色）では、筆数が多く耕作者が多岐にわたる場合、膨大な時間と労力を要することが課題であった。
3. そこで、GISの「属性連携機能（Excelデータと地図データの紐づけ）」と「個別値レンダリング機能（個別値による塗り分け機能）」を活用し、課題解決及び作業効率化を実現した。

## 水土里情報システム(GIS)

▼地番・耕作者リスト(Excel)

地番	耕作者	所
001:100-1	長野 太郎	奈
004:200-1	長野 太郎	奈
002:2000-1	株式会社	村
004:300-1	長野 次郎	奈

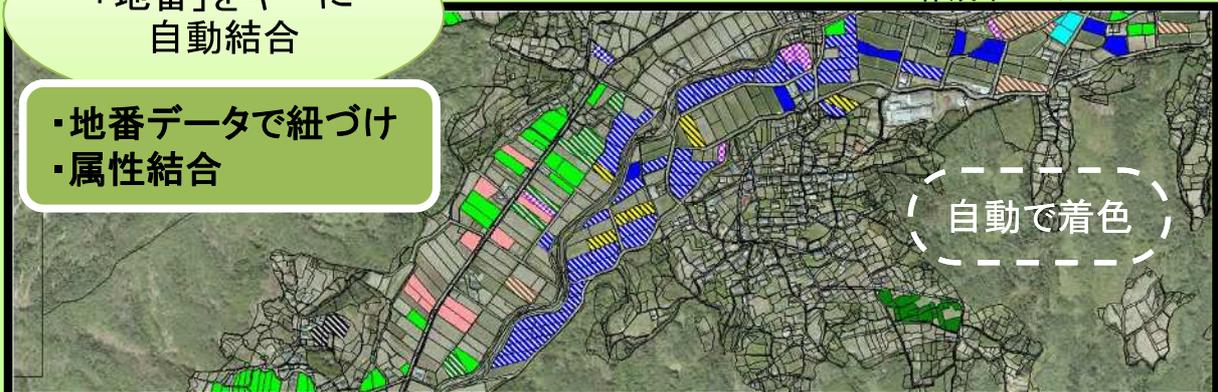
▼筆図GISデータ(未着色)



「地番」をキーに  
自動結合

- ・地番データで紐づけ
- ・属性結合

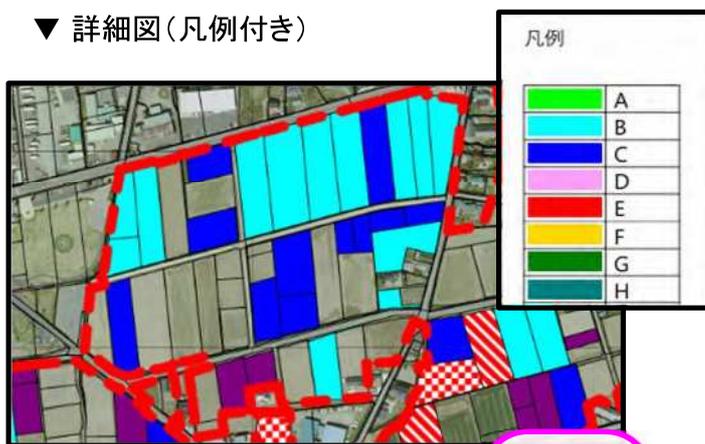
▼作成イメージ



## 作業フロー

- ① **データ整理**: 市町村からのExcelリストの表記揺れ(全角半角など)を修正
- ② **属性連携**: GIS上で「地番」を照合キーにしてデータを結合
- ③ **描画設定**: 「個別値レンダリング」機能で、耕作者ごとの色分けを実行

▼ 詳細図(凡例付き)



完成

## 取組による効果

### 作業負担の大幅な軽減

従来の手作業と比較し、GISを活用して自動色分けを行うことで、複雑な作業を瞬時に完了し、作業時間を劇的に短縮できた。

### データ更新の容易化

Excel上の耕作者情報を修正し、再度GISに取り込むだけで地図への反映が可能となったため、計画変更時のメンテナンス性が向上した。

### 将来的な業務への貢献

作成したデジタルデータは、地域計画策定後も、農地利用実態の把握や次期計画への更新など、多目的な活用が期待できる。

## 今後の活用予定

現在は、長野県農政部においてGIS導入が予定されている。これと連携を図るため、本会においてもGISシステムの再構築を計画している。

長年の課題であった「GISデータの一元管理」と「共有体制の構築」を実現し、県内の土地改良区や市町村に対し、より迅速で的確な技術支援を行える体制を目指す。

## GISシステムのバージョン情報

PG-Mapping HTx64

### ■お問い合わせ先

長野県土地改良事業団体連合会 事業部 水土里情報センター (電話番号)026-233-4281